

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

平成31年度 事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 会員現況

	令和2年3月31日	平成31年3月31日	増減
会員総数	11,520名	11,384名	136名
医師	11,133名	11,045名	88名
医師以外	320名	317名	3名
専門職会員	67名	22名	45名

(名誉会員・功労会員含む)

入会 666名

退会 530名

退会者には会員資格停止(会費2年未納者)212名含む

物故会員(敬称略)

みやたきよりのり まきのあつ いしはらよしひろ いのうえあきお いせのりひさ
宮田清典、牧野アツ、石原義恕(功労会員)、井上明生(功労会員)、伊勢紀久、

こいだとしや まきすみこうじ よしだしんいち こばやしやすゆき いしだふみあき ねずおしょうぞう てらだちかよし
鯉田俊哉、牧角浩史、吉田伸一、小林靖幸、石田文章、鼠尾祥三、寺田近義、

いわがちあきら ふくだこうせい うえのひろあき やまがまきお さたけけんじ ひらさわやすすけ
岩淵亮、福田紅生、上野博章、山鹿眞紀夫、佐竹賢治、平澤泰介(名誉会員)、

しみずかずや いわがわつき すずきよしひで みやもりたかし
清水和也、岩河津紀、鈴木芳英、宮森孝史

2. 役員、代議員、各種委員会委員

役員

理事長1名 副理事長5名 理事14名 監事3名

代議員

349名

各種委員会委員

会則検討委員会 5名

ICF・データマネジメント委員会 7名

試験委員会 15名

認定委員会	12名
財務委員会	7名
社会保険・障がい者福祉委員会	10名
国際委員会	5名
国際誌編集委員会	11名
I S P R M委員会	9名
関連機器委員会	6名
編集委員会	11名
評価・用語委員会	8名
診療ガイドライン委員会	7名
教育委員会	8名
研修・講習委員会	10名
倫理委員会	12名
広報委員会	12名
障がい者スポーツ委員会	8名

3. 学術集会の開催について

- 1) 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会を、令和元年6月12日（水）、13日（木）、14日（金）、15日（土）、16日（日）の5日間、神戸コンベンションセンターに於いて開催した。
- 2) 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、令和元年11月15日（金）、16日（土）、17日（日）の3日間、静岡県コンベンションアーツセンターグランシップに於いて開催した。

4. 諸会議

1) 代議員総会の開催

令和元年6月13日

2) 理事会の開催

- 第1回 平成31年 4月27日
- 第2回 令和元年 5月18日
- 第3回 令和元年 6月12日
- 第4回 令和元年 7月27日
- 第5回 令和元年 9月28日
- 第6回 令和元年 11月15日
- 第7回 令和2年 1月18日
- 第8回 令和2年 3月12日～14日（メール審議による理事会）

3) 理事長直轄委員会の開催

- (1) 危機管理委員会 6名
今年度の開催なし。

- (2) 学術集会検討委員会 16名
年次学術集会、秋季学術集会の開催、運営方針、プログラム、共催セミナー等の企画内容の検討を行った。
- (3) 専門医制度委員会 10名
2020年4月開始の専門研修プログラムへの専攻医の登録、新規専門研修プログラムの審査、ダブルボード以外の研修カリキュラム制の検討等、新専門医制度に対応したリハビリテーション医学会専門医制度の検討を行った。
- (4) 選挙管理委員会 8名
代議員選挙、役員選挙に関する選挙管理事務を行った。
- (5) 選挙制度委員会 7名
今年度の開催なし。
- (6) 関連専門職委員会 6名
本年度は委員会を2回開催し、総合力がつくリハビリテーション専門職カリキュラムに対するアンケートを委員会内で実施した。「専門職に関する教育カリキュラム」骨子と作成趣旨を起案し理事会に提出した。
- (7) 専門医委員会 8名
本年度は委員会を2回開催し、学術集会による各種の学会企画、地方会との連携、SIG等の今後の活動のあり方について検討を行った。
- (8) RJN委員会 17名
本年度は委員会を2回開催し、リハビリテーション科女性医師ネットワーク企画のセミナーや懇親会を開催した他、先輩医師へのインタビュー実施とHPへの掲載、インタビュー内容をまとめた冊子「達人の流儀 第5集」の発刊を行った。
- (9) 先端医療委員会 5名
本年度は委員会を2回開催し、再生医療等製品に関する評価及び要望の意見交換を行った。再生医療（脊髄）に関する参考URLの情報発信を行った。

4) 各種委員会の開催

- | | |
|--------------------|--|
| ① 会則検討委員会 | 10回（内メール審議10回） |
| ② ICF・データマネジメント委員会 | 1回 |
| ③ 試験委員会 | 9回 |
| | （筆記試験担当4回、筆記・口頭合同5回） |
| ④ 認定委員会 | 9回 |
| | （資格認定担当3回、施設認定担当5回（メール審議含む）資格・施設合同1回） |
| ⑤ 社会保険・障がい者福祉委員会 | 6回（他メール審議2回） |
| ⑥ 関連機器委員会 | 2回 |
| ⑦ ISPRM委員会 | 3回 |
| ⑧ 国際委員会 | 2回 |
| ⑨ 国際誌編集委員会 | 2回（メール審議含む） |
| ⑩ 編集委員会 | 6回（内Web会議3回） |
| ⑪ 評価・用語委員会 | 3回（内Web会議2回） |
| ⑫ 診療ガイドライン委員会 | 2回（他小委員会を適時開催） |
| | （診療ガイドラインコア委員会1回、脳卒中治療ガイドライン2021策定委員会（メール審議）、臨床医のための脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針策定委員会1回） |
| ⑭ 教育委員会 | 4回（他メール審議を適時開催） |
| ⑮ 研修・講習委員会 | 2回（他メール審議10回） |

- ⑩ 広報委員会 2回
- ⑪ 障がい者スポーツ委員会 2回

5) 全国医学部リハビリテーション科連絡会の開催

全国医学部リハビリテーション科連絡会を令和元年6月12日(水)に神戸ポートピアホテルにて開催し、平成30年度から開始した新専門医制度による研修プログラムへの専攻医の応募状況、医学部における卒前教育の現況、シーリングへの対応等について情報交換を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送
各種委員会委員(特別委員等を含む) 218名

6. 後援、協賛等依頼

- | | |
|---|------|
| 1) 2019年度リウマチ月間リウマチ講演会
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援 |
| 2) 2019年度義肢装具等適合判定医師研修会
(国立障害者リハビリテーションセンター) | 後援名義 |
| 3) 2019年度脳卒中週間ポスター
(公益社団法人 日本脳卒中協会) | 共催名義 |
| 4) ヒューマンインタフェースシンポジウム2019
(ヒューマンインタフェース学会) | 協賛 |
| 5) 第7回全国介護・終末期リハ・ケア研究会研究大会つくば2019
(全国介護・終末期リハ・ケア研究会) | 後援名義 |
| 6) 一般社団法人 日本人間工学会第60回大会
(一般社団法人 日本人間工学会) | 協賛 |
| 7) 第27回日本慢性期医療学会 in 大阪
(日本慢性期医療協会) | 後援 |
| 8) 第6回日本医療安全学会学術総会
(日本医療安全学会) | 後援名義 |
| 9) 第46回国際福祉機器展 H.C.R. 2019
(社会福祉法人 全国社会福祉協議会) | 協賛名義 |
| 10) NPO法人日本リハビリテーション看護学会第31回学術集会
(NPO法人 日本リハビリテーション看護学会) | 後援名義 |
| 11) 第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会「市民公開講座」
(日本動脈硬化学会) | 後援名義 |
| 12) 第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ
(一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会) | 協賛名義 |
| 13) 第34回日本リウマチリハビリテーション研究会 札幌大会
(日本リウマチリハビリテーション研究会) | 後援 |
| 14) 令和元年度 運動療法機能訓練技能講習会
(公益社団法人 全国病院理学療法協会) | 後援名義 |
| 15) 第42回総合リハビリテーション研究大会 | 後援名義 |

- (公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会)
- 16) 健康・省エネシンポジウム in 佐賀Ⅷ
(SAGA 健康・省エネ住宅推進協議会) 後援名義
 - 17) キッズランニングスクール 2019
(東京大学スポーツ先端科学研究拠点) 後援
 - 18) きょうされん第 42 回全国大会あいち
(きょうされん) 後援名義
 - 19) 第 4 回日本安全運転・医療研究会
(日本安全運転・医療研究会) 後援名義
 - 20) リハビリテーション・ケア合同研究大会金沢 2019
(一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 他 4 団体) 後援
 - 21) 日本身体障害者補助犬学会第 12 回学術大会
(日本身体障害者補助犬学会) 後援名義
 - 22) 2019 年度てんかんを正しく理解する月間
(公益社団法人 日本てんかん協会) 協賛名義
 - 23) 第 40 回日本リハビリテーションスポーツ学会研究大会
2019 年リハビリテーションスポーツセミナー
(日本リハビリテーションスポーツ学会) 後援
 - 24) 第 69 回日本理学療法学会
(公益社団法人 全国病院理学療法協会) 後援名義
 - 25) 第 16 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 高知
(一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会) 後援名義
 - 26) 一般社団法人 日本人間工学会第 61 回大会
(一般社団法人 日本人間工学会) 協賛
 - 27) 第 9 回日本がんリハビリテーション研究会
(日本がんリハビリテーション研究会) 後援
 - 28) 第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
(一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会) 後援
 - 29) リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2020
(一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 他 4 団体) 後援
 - 30) 第 55 回日本理学療法学術研修大会 2020 in おおいた
(公益社団法人 日本理学療法士協会) 後援名義
 - 31) 第 4 回日本リンパ浮腫学会総会
(一般社団法人 日本リンパ浮腫学会) 後援
 - 32) 第 2 回福祉用具専門相談員研究大会
(一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会) 後援
 - 33) 回復期リハビリテーション病棟協会第 35 回研究大会 in 札幌
(一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会
医療法人 溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院) 後援
 - 34) 第 41 回バイオメカニズム学術講演会
(バイオメカニズム学会) 協賛
 - 35) 第 14 回 日本薬局学会 学術総会
(一般社団法人 日本薬局学会、一般社団法人 日本保険薬局協会) 後援
 - 36) 第 54 回日本作業療法学会
(一般社団法人 日本作業療法士協会) 後援

- | | |
|--|------|
| 37) HOSPEX JAPAN 2020 (ホスペックスジャパン 2020)
(一般社団法人 日本医療福祉設備協会、一般社団法人 日本能率協会) | 協賛 |
| 38) 創立 60 周年記念大会
(公益社団法人 日本リウマチ友の会) | 後援名義 |
| 39) 第 42 回臨床歩行分析研究会定例会
(臨床歩行分析研究会) | 後援名義 |

7. 会誌の発行

- ① 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第 56 巻第 4 号～第 12 号、第 56 回学術集会抄録集、第 3 回秋季学術集会抄録集、第 57 巻 第 1 号～第 3 号計 14 冊を発行した。
- ② 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(オンラインのみによる投稿誌)を運営し、令和元年度は新規に 21 編の投稿論文を掲載した。

8. 広報誌の発行

会員及び医療関連従事者への広報を充実するため、「日本リハビリテーション医学会ニュース NEXT!」2 号を発行した。

9. ホームページの管理・運営

新システムを導入し、新しい会員専用ページ画面を作成した。

10. 教育及び研修

1) 卒後実習研修会

- ・脊損尿路管理研修会
期 日 令和元年 11 月 30 日～12 月 1 日
会 場 総合せき損センター 会議室 1
受講者数 12 名
- ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース
期 日 令和元年 9 月 1 日～2 日、10 月 21 日
会 場 岡山国際交流センター他
受講者数 10 名
- ・小児のリハビリテーション実習研修会
期 日 令和 2 年 2 月 7 日～8 日
会 場 宮城県立こども病院愛子ホール
※開催可能人数に達さなかったため開催延期。
- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会
期 日 令和元年 11 月 9 日～10 日
会 場 慶応義塾大学医学部 2 号館臨床講堂兼大会議室 11 階
受講者数 53 名
- ・職業リハビリテーション研修会

- | | |
|------|---------------|
| 期 日 | 令和元年9月29日～30日 |
| 会 場 | 岡山国際交流センター他 |
| 受講者数 | 8名 |
- ・令和元年度第1回嚙下障害実習研修会

期 日	令和元年11月2日～3日
会 場	浜松市リハビリテーション病院他
受講者数	26名
 - ・令和元年度第2回嚙下障害実習研修会

期 日	令和2年2月1日～2日
会 場	浜松市リハビリテーション病院他
受講者数	29名
 - ・動作解析・運動学実習研修会

期 日	令和2年3月26日～28日
会 場	藤田医科大学

 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催延期。
 - ・リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会

期 日	令和2年2月1日～2日
会 場	日本橋ライフサイエンスビルディング
受講者数	24名

2) 学術集会研修会

- | | |
|------|----------------------------|
| 期 日 | 令和元年6月12日～16日 |
| 会 場 | 神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場・神戸国際展示場 |
| 受講者数 | 1,794名 |

3) 秋季学術集会研修会

- | | |
|------|--------------------------|
| 期 日 | 令和元年11月15日～17日 |
| 会 場 | 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ |
| 受講者数 | 898名 |

4) 実践リハビリテーション医学研修会

- ・「循環・代謝」

期 日	令和元年8月3日
会 場	フォーラムミカサエコ7階
受講者数	64名
- ・「脊髄損傷」

期 日	令和元年10月19日
会 場	フォーラムミカサエコ7階
受講者数	73名
- ・「小児疾患」

期 日	令和2年2月22日
会 場	フォーラムミカサエコ7階
受講者数	50名

5) 急性期・回復期リハビリテーション医師研修会

- ・「令和元年度「急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会」」
期 日 令和元年7月20日～7月21日
会 場 品川フロントビル会議室
受講者数 102名
- ・「令和元年度回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】」
期 日 令和元年8月31日～9月1日
会 場 品川フロントビル会議室
受講者数 178名

6) 生涯教育研修会

日本リハビリテーション医学会主催「医療倫理・医療安全・感染対策講習会」

- ・期 日 令和元年6月16日
会 場 神戸国際展示場2号館1コンベンションホール北
受講者数 536名

日本リハビリテーション医学会主催「医療倫理・医療安全・感染対策講習会」

- ・期 日 令和元年11月17日
会 場 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ会議ホール・風
受講者数 236名

北海道ブロック

- ・期 日 令和元年4月13日
会 場 札幌医科大学記念ホール
受講者数 46名
- ・期 日 令和元年9月14日
会 場 北海道大学医学部臨床大講堂
受講者数 43名
- ・期 日 令和2年3月7日
会 場 北海道大学学術交流会館第1会議室
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

東北ブロック

- ・期 日 令和元年8月31日
会 場 コラッセふくしま
受講者数 59名
- ・期 日 令和元年9月15日
会 場 秋田大学医学部附属病院 本道40周年記念会館 記念講堂
受講者数 21名
- ・期 日 令和2年2月29日
会 場 仙台市中小企業活性化センター (AER6階)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

関東ブロック

- ・期 日 令和元年9月29日
会 場 東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール
受講者数 152名

- ・期 日 令和元年10月5日
- 会 場 新潟大学医学部有壬記念館
- 受講者数 24名
- ・期 日 令和2年2月9日
- 会 場 さいたま市民会館うらわ
- 受講者数 102名
- ・期 日 令和2年2月15日
- 会 場 前橋テルサ 8階 けやきの間
- 受講者数 39名
- ・期 日 令和2年2月15日
- 会 場 山梨リハビリテーション病院 第一会議室
- 受講者数 6名

北陸ブロック

- ・期 日 令和元年8月31日
 - 会 場 ホテル金沢
 - 受講者数 31名
 - ・期 日 令和2年3月7日
 - 会 場 金沢大学病院CPDセンター
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

中部・東海ブロック

- ・期 日 令和元年8月31日
- 会 場 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階 大ホール
- 受講者数 82名
- ・期 日 令和2年2月8日
- 会 場 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階 大ホール
- 受講者数 66名

近畿ブロック

- ・期 日 令和元年9月14日
- 会 場 奈良県医師会館講堂
- 受講者数 66名
- ・期 日 令和元年10月5日
- 会 場 京都府立医科大学 図書館ホール
- 受講者数 24名
- ・期 日 令和元年11月9日
- 会 場 兵庫県民会館 けんみんホール
- 受講者数 46名
- ・期 日 令和元年12月1日
- 会 場 京都府立医科大学図書館ホール
- 受講者数 31名
- ・期 日 令和2年2月2日
- 会 場 同志社大学 寒梅館
- 受講者数 45名
- ・期 日 令和2年3月1日
- 会 場 関西医科大学附属病院講堂

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。

中国・四国ブロック

- ・期 日 令和元年7月7日

会 場	山口県健康づくりセンター（山口県総合保健会館内）
受講者数	43名
・期 日	令和元年12月1日
会 場	高知大学 医学部
受講者数	51名

九州ブロック

・期 日	令和元年9月8日
会 場	くまもと森都心プラザホール
受講者数	136名
・期 日	令和2年2月16日
会 場	鹿児島大学医学部鶴陵会館
受講者数	100名

7) e-learning の開講

会員を対象に平成30年11月から開講したe-learningを、今年度は5講座（26コンテンツ）作製し、421名が受講した。会員は無料で受講が出来、受講による単位取得（有料）も可能とした。

8) 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト、 生活期のリハビリテーション医学・医療テキストの監修

リハビリテーション科医及び関連専門職の教材として、学会監修による急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト及び生活期のリハビリテーション医学・医療テキストが令和2年2月に出版された。

9) リハビリテーション医学・医療用語集第8版の発行

評価・用語委員会委員を中核とした編集委員によるリハビリテーション医学・医療用語集第8版の編集を行い、令和元年6月に発行し、全会員に配布した。

1 1. 専門医、認定臨床医の認定

- 1) 専門医認定試験は今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期された。
令和2年3月末現在専門医数 2,514名
- 2) 認定臨床医認定試験は今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期された。
今年度は新たに日本整形外科学会との連携により、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医を対象とする認定臨床医資格取得講習会を開催し196名を認定した。
令和2年3月末現在認定臨床医数 3,785名

1 2. 指導医の認定

令和元年度指導医認定者数	62名
令和2年3月末現在	1,277名

1 3. 研修施設の認定

令和元年度研修施設認定数	27 施設
令和2年3月末現在	644 施設

1 4. リハビリテーション医学啓発活動

令和元年度市民公開講座を次のとおり開催した。

令和元年5月12日 東京都（東京慈恵会医科大学 2号館講堂）

令和元年8月24日 福井市（AOSSA（福井県民ホール））

1 5. 学術研究の奨励

- ①本学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文一編を表彰した。
- ②英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文、優秀論文各一編を表彰した。
- ③若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修補助金を支給した。
- ④外国人リハビリテーション科医への短期交流研修補助金を支給した。

1 6. 国際化の推進

国際リハビリテーション医学会世界会議2019（ISPRM2019）を開催した。

日時：2019年6月9日（日）～13日（木）

会場：神戸コンベンションセンター

1 7. 会員カードの発行

新システムの導入に伴い、会員に対し会員カードの発行を行った。

事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	170,679,065	173,983,570	-3,304,505
未収金	323,381	1,308,766	-985,385
前払金	6,129,802	2,987,244	3,142,558
立替金	4,356,000	4,690,000	-334,000
仮払金	5,000,000	0	5,000,000
流動資産合計	186,488,248	182,969,580	3,518,668
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
学術研究助成積立資産	60,000,000	60,000,000	0
学術集会事業積立資産	10,001,220	10,001,122	98
退職給付引当資産	2,422,486	1,613,199	809,287
特定資産合計	72,423,706	71,614,321	809,385
(3) その他固定資産			
建物附属設備	7,779,208	8,733,843	-954,635
什器備品	827,058	1,012,384	-185,326
ソフトウェア	25,931,392	27,262,476	-1,331,084
保証金	3,630,250	3,630,250	0
長期貸付金	2,885,600	2,885,600	0
その他固定資産合計	41,053,508	43,524,553	-2,471,045
固定資産合計	213,477,214	215,138,874	-1,661,660
資産合計	399,965,462	398,108,454	1,857,008
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	885,705	4,025,122	-3,139,417
前受金	1,210,360	1,755,000	-544,640
預り金	477,344	477,201	143
未払消費税等	1,186,700	1,892,700	-706,000
流動負債合計	3,760,109	8,150,023	-4,389,914
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,422,486	1,613,199	809,287
固定負債合計	2,422,486	1,613,199	809,287
負債合計	6,182,595	9,763,222	-3,580,627
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	70,001,220	70,001,122	98
正味財産合計	393,782,867	388,345,232	5,437,635
負債及び正味財産合計	399,965,462	398,108,454	1,857,008

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	8,909	8,909
基本財産受取利息	0	8,909	8,909
特定資産運用益	3,500	0	3,500
学術研究助成基金受取利息	3,500	0	3,500
受取会費	88,032,975	88,032,975	176,065,950
正会員受取会費	83,584,725	83,584,725	167,169,450
賛助会員受取会費	4,050,000	4,050,000	8,100,000
専門職員会費	398,250	398,250	796,500
事業収益	445,079,911	0	445,079,911
学術集會事業収益	390,550,031	0	390,550,031
学術集會収益	290,035,521	0	290,035,521
秋季学術集會収益	100,514,510	0	100,514,510
会誌等発行事業収益	6,365,346	0	6,365,346
広告料収益	2,876,873	0	2,876,873
会誌販売収益	250,955	0	250,955
著作権料収益	3,147,518	0	3,147,518
論文掲載料	90,000	0	90,000
専門医等認定事業収益	27,635,800	0	27,635,800
審査料収益	9,946,000	0	9,946,000
登録料収益	4,064,000	0	4,064,000
更新料収益	13,625,800	0	13,625,800
研修会事業収益	18,838,552	0	18,838,552
病態別・実践研修会収益	3,507,192	0	3,507,192
研修会認定収益	2,380,000	0	2,380,000
急性期等リハ医師研修会収益	10,481,360	0	10,481,360
初期研修医等研修収益	600,000	0	600,000
生涯教育研修会認定料収益	360,000	0	360,000
臨床研修医医師向けリハ研修会収益	1,510,000	0	1,510,000
e-learning事業収益	1,687,822	0	1,687,822
証明書等収益	2,360	0	2,360
受取補助金等	1,200,000	0	1,200,000
受取補助金	1,200,000	0	1,200,000
その他	200,000	0	200,000
GSK補助金	1,000,000	0	1,000,000
受取寄付金	2,765,000	0	2,765,000
雑収益	2,546,105	5,071	2,551,176
受取利息	0	5,071	5,071
雑収益	2,546,105	0	2,546,105
経常収益計	539,627,491	88,046,955	627,674,446
(2) 経常費用			
事業費	590,090,924	0	590,090,924
学術集會事業費	363,912,518	0	363,912,518
印刷通信費	395,874	0	395,874
事務局経費	799,881	0	799,881
学術集會事業費	269,180,663	0	269,180,663
秋季学術集會	93,536,100	0	93,536,100
会誌発行費	48,678,198	0	48,678,198
広報誌発行費	692,322	0	692,322
各種委員会・旅費、会場費	7,141,666	0	7,141,666
各種委員会・経費	11,973,827	0	11,973,827
急性期リハビリテーション医学会運営補助金	3,000,000	0	3,000,000
生活期リハビリテーション医学会運営補助金	3,000,000	0	3,000,000
専門医等認定事業費	5,820,724	0	5,820,724
研修会事業費	18,081,798	0	18,081,798
病態別実践リハ研修会費	54,111	0	54,111
急性期等リハ医師研修会費	5,377,541	0	5,377,541
臨床研修医等向けリハ研修会	1,789,382	0	1,789,382
GSK補助金研修事業	5,881,832	0	5,881,832
実習研修会	400,932	0	400,932
e-learningコンテンツ制作・維持費	4,578,000	0	4,578,000
海外研修補助金	1,302,100	0	1,302,100
論文賞賞金	600,000	0	600,000
論文賞賞金(JJRM)	300,000	0	300,000
論文賞賞金(PRM)	300,000	0	300,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
リハ啓発活動事業費	1,441,059	0	1,441,059
地方会事務局費	7,960,000	0	7,960,000
会員名簿作成費	5,733,265	0	5,733,265
用語集作成費	12,578,361	0	12,578,361
国際化推進費支出	909,390	0	909,390
給料手当	18,141,150	0	18,141,150
退職給付費用	704,080	0	704,080
福利厚生費	3,269,535	0	3,269,535
旅費交通費	1,977,848	0	1,977,848
木ムベ一ジ維持管理費	655,134	0	655,134
通信運搬費	3,063,430	0	3,063,430
情報関連整備費	1,033,062	0	1,033,062
什器備品費	39,803	0	39,803
消耗品費	1,593,792	0	1,593,792
印刷製本料費	1,906,034	0	1,906,034
光熱水借料費	524,384	0	524,384
賃借料	15,435,131	0	15,435,131
租税公課	2,755,551	0	2,755,551
減価償却費	6,266,336	0	6,266,336
支払手数料	1,627,244	0	1,627,244
業務委託費	37,518,019	0	37,518,019
雑費	755,163	0	755,163
管理費	0	32,145,887	32,145,887
給料手当	0	2,710,746	2,710,746
退職給付費用	0	105,207	105,207
福利厚生費	0	488,551	488,551
理事會費	0	11,128,065	11,128,065
代議士總會費	0	918,781	918,781
選挙関係費用	0	4,363,857	4,363,857
旅費交通費	0	295,541	295,541
顧問一ムベ一ジ維持管理費	0	1,963,000	1,963,000
通信運搬費	0	97,894	97,894
情報関連整備費	0	457,754	457,754
什器備品費	0	154,366	154,366
消耗品費	0	5,947	5,947
印刷製本料費	0	238,153	238,153
光熱水借料費	0	284,810	284,810
賃借料	0	78,356	78,356
租税公課	0	2,306,399	2,306,399
負債償却金費	0	411,749	411,749
減価償却費	0	3,242,250	3,242,250
支払手数料	0	936,349	936,349
事務委託費	0	219,025	219,025
雑費	0	1,626,247	1,626,247
經常費用計	590,090,924	32,145,887	622,236,811
評価損益等調整前当期經常増減額	-50,463,433	55,901,068	5,437,635
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	-50,463,433	55,901,068	5,437,635
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-50,463,433	55,901,068	5,437,635
当期一般正味財産増減額	-50,463,433	55,901,068	5,437,635
一般正味財産期首残高	223,249,582	165,095,650	388,345,232
一般正味財産期末残高	172,786,149	220,996,718	393,782,867
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	172,786,149	220,996,718	393,782,867

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ①有形固定資産
 - 建物附属設備・・・定額法
 - 什器備品・・・定率法
 - ②無形固定資産
 - ソフトウェア・・・定額法
- (3) 引当金の計上基準
 - 退職給付引当金・・・職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は、税込方式による。
- (5) 貸借対照表内訳表について
 - 当社は、公益事業以外の事業を行っていないため、貸借対照表内訳表は作成していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	0	0	60,000,000
学術集会事業積立資産	10,001,122	98	0	10,001,220
退職給付引当特定資産	1,613,199	809,287	0	2,422,486
小 計	71,614,321	809,385	0	72,423,706
合 計	171,614,321	809,385	0	172,423,706

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小 計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	(0)	(60,000,000)	—
学術集会事業積立資産	10,001,220	(0)	(10,001,220)	—
退職給付引当特定資産	2,422,486	(0)	(0)	(2,422,486)
小 計	72,423,706	(0)	(70,001,220)	(2,422,486)
合 計	172,423,706	(0)	(170,001,220)	(2,422,486)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	10,465,200	2,685,992	7,779,208
什器備品	2,002,182	1,175,124	827,058
ソフトウェア	33,490,960	7,559,568	25,931,392
合 計	45,958,342	11,420,684	34,537,658

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細について、財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,613,199	809,287	0	0	2,422,486

財産目録

令和2年 3月31日現在

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	75,389	
	預金	普通預金	三菱UFJ銀行 池袋東口支店	運転資金として	127,461,556
		三菱UFJ銀行 池袋東口支店	三菱UFJ銀行 池袋東口支店	運転資金として	1,412,795
		三菱UFJ銀行 神楽坂支店	三菱UFJ銀行 神楽坂支店	運転資金として	2,181,992
		三菱UFJ銀行 神田支店	三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	10,500,818
		三井住友銀行 千川支店	三井住友銀行 千川支店	運転資金として	4,218,054
		東京シティ信用金庫 神楽坂支店	東京シティ信用金庫 神楽坂支店	運転資金として	1,889,615
		住信SBIネット銀行 法人第一支店	住信SBIネット銀行 法人第一支店	運転資金として	16,399,674
		郵便貯金 ゆうちょ銀行	郵便貯金 ゆうちょ銀行	運転資金として	2,550,292
		郵便振替口座 ゆうちょ銀行	郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	3,988,880
	未収金	㈱医薬広告社他	57巻2号 広告代他	323,381	
前払金	㈱中日新聞社他	ISPRM年会費 2021年分他	6,129,802		
立替金	一般社団法人日本専門医機構	専門医更新認定料立替	4,356,000		
仮払金	第57回学術集會会長 島田洋一	第57回学術集會開催準備資金	5,000,000		
流動資産合計				186,488,248	
(固定資産)					
基本財産					
(固定資産)	定期預金	三菱UFJ信託銀行 池袋支店	管理運営用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている	100,000,000	
	特定資産	学術研究助成積立資産	三菱UFJ銀行 池袋東口支店	公益目的事業財産として管理・運営している	60,000,000
		学術集會事業積立資産	三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業財産として管理・運営している	10,001,220
その他固定資産	退職給付引当資産	東京シティ信用金庫 神楽坂支店	職員に対する退職金に備えたもの	2,422,486	
	建物附属設備	新事務所内装工事 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。		
			うち公益目的保有財産	6,534,535	
			うち管理運営用財産	1,244,673	
	什器備品	サーバー・新事務所机 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。		
		うち公益目的保有財産	694,729		
		うち管理運営用財産	132,329		
ソフトウェア	会員管理システム・会計ソフト 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。			
		うち公益目的保有財産	21,782,369		
		うち管理運営用財産	4,149,023		
保証金	㈱7-スライツ 内神田東誠ビル	共用財産であり使用実態に応じて区分している。			
		うち公益目的保有財産	3,049,410		
		うち管理運営用財産	580,840		
長期貸付金	一般社団法人日本専門医機構	機構運営資金	2,885,600		
固定資産合計				213,477,214	
資産合計				399,965,462	
(流動負債)					
(流動負債)	未払金	公益財団法人 日本教育科学研究所他	e-learningシステム運用費他	885,705	
	前受金	研修会参加費他	研修会参加者他	1,210,360	
	預り金	神田税務署 他	源泉所得税、社会保険料 他	477,344	
	未払消費税等	神田税務署		1,186,700	
流動負債合計				3,760,109	
(固定負債)					
	退職給付引当金			2,422,486	
固定負債合計				2,422,486	
負債合計				6,182,595	
正味財産				393,782,867	

監査報告書

令和2年4月21日

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会
理事長 久保 俊一 殿

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会
監事

水間 正澄 

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会
監事

和田 郁雄 

公益社団法人
日本リハビリテーション医学会
監事

菅本 一厚 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属証明書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告・事業報告の附属明細書の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。